

科目ナンバリング		U-LAS23 20002 SO48							
授業科目名 <英訳>	中国語II B [文法・文化理解] C262 Intermediate Chinese B [Grammar, Cross-cultural understanding]				担当者所属 職名・氏名	非常勤講師 前田 尚香			
群	外国語科目群			分野(分類)				使用言語	日本語
旧群	C群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	演習(外国語)(対面授業科目)		
開講年度・ 開講期	2025・後期		曜時限	金5		配当学年	2回生以上	対象学生	全学向
【授業の概要・目的】									
中国の著名な劇作家、曹禺の代表作『北京人』を講読する。1940年に創作されたこの作品は、1930年代の北京の旧家、曹家が舞台で、その没落にともなう人間模様を描いた作品である。その芸術性と社会背景なども考察しながら、よく使われる口語表現を中心に中国語のレベルアップを目指す。									
【到達目標】									
<ul style="list-style-type: none"> ・総合的なレベルアップを目指す。特に北方で実際に使用される口語表現に重点をおいて学ぶ。 ・作品を通して、当時の社会背景や風俗習慣に対する理解を深める。 									
【授業計画と内容】									
『北京人』は比較的長編の劇本で全三幕の構成であるが、このうち第三幕を中心に講読する。 第1回 イントロダクション(作品や作者に関する説明、第一幕の概況など) 第2回 第二幕の解説(DVDなどで舞台の様子を見る場合もある) 第3回～第14回 第三幕の講読 (毎回、配布テキストの2、3ページ分を読み進めてゆく。第三幕の三分の一程度を読み進めてゆく予定。文法や語彙に注意しながら、原文の表現と内容を毎回しっかり把握できるようにする。最後にDVDなどで実際の舞台上演の様子を確認する。)									
《期末試験》									
第15回 フィードバック(主に作者に関する説明を補足し、総括する)									
なお、以上は履修者の習熟度などにより若干変更する場合がある。									
【履修要件】									
「全学共通科目履修の手引き」を参照してください。									
【成績評価の方法・観点】									
学期末試験の成績(70%)に、平常点(30%)を加えて評価する。平常点は、主にテキストの日本語訳や課題についての発表で、既定の回数の発表ができなかった場合や、発表が一定レベルに達していなければ減点の対象とする。詳細は授業中に説明する。									
【教科書】									
授業中にプリント等を配布。									
中国語II B [文法・文化理解] C262(2)へ続く									

中国語ⅡB [文法・文化理解] C262(2)

[参考書等]

(参考書)
授業中に紹介する

[授業外学修(予習・復習)等]

履修生は毎回予習が必要。単語を注意深く調べ、自分で訳文を作ってくること。

[その他(オフィスアワー等)]